

未来へつなぐ

Vol. 142



文 / 本間 吾里砂

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策への取り組み
車内で飲食をする際は、「黙食」へのご協力をお願いしています

「三密」対策と衛生対策 協力依頼への呼びかけ

JR北海道では、鉄道連絡会が策定した「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき、感染予防に取り組んでいます。具体的には「三密（密閉・密接・密集）」の防止、多くの人が触れる場所の衛生対策、お客様への協力の呼びかけなど、各種感染防止対策を実施しています。

まず「三密」については、「密閉」対策として車内換気の実施。新幹線は強制換気によって常時、在来線は車両形式や空調装置、運行区間に応じて換気回数や時間の目安を決め、車掌が手動で行っています。なお、北海道特有の客室内に仕切り戸がある車両については、常時仕切り戸を開放し、密閉状態を回避。次に「密接」対策

線区	函館線		千歳線	学園都市線
区間	手稲→札幌	江別→札幌	千歳→札幌	石狩当別→札幌
～6:59	■	■	■	■
7:00～7:29	■	■	■	■
7:30～7:59	■	■	■	■
8:00～8:29	■	■	■	■
8:30～8:59	■	■	■	■
9:00～9:29	■	■	■	■
9:30～9:59	■	■	■	■

■ ゆったり立てる程度 ■ 肩が触れ合う程度 ■ 混み合っている
札幌駅到着列車の混雑状況の掲載イメージ(集計期間:令和3年9月27日～10月1日)

としては、座席間隔に配慮したきっぷの発売、お客様自身が座席を選ぶ指定席券売機の運用、「えきねっと」によるウェブ予約時に密接を避けた座席選択ができるシートマップ機能の利用案内などに取り組んでいます。さらに「密集」対策として、乗降数の多い通勤・通学駅では駅構内放送で時間差出勤やテレワークへの協力を呼びかけているほか、ホームページで平日の朝の通勤ラッシュ時に札

幌駅へ到着する列車の混雑状況を知らせています。

続いて衛生対策に関しては、手すりやエレベータのボタンなど、多くの人が触れる場所は除菌シート等による拭き取り、全車の客室内は吊り輪・肘かけ・テーブル・窓縁などの定期的な消毒を行っています。一方、札幌駅などの主要駅にはアルコール消毒液のほか、トイレの洗面所にはハンドソープ等を配備。また、車内改札時のきっぷの確認について、事前に購入履歴の照会ができた指定席は省略、自由席は目視による確認を行うことで衛生面に配慮しています。

感染リスク軽減に向け 車内での「黙食」を推奨

多くの人が乗り合わせる車内では、お客様の理解と協力がなければ感染を予防することはできません。JR北海道



飲食の際は黙食

では、駅や列車を利用するお客様に「マスクの常時着用」「手洗い」「咳エチケット」「会話は控えめ」などの励行を呼びかけ、協力を求めています。

しかしながら、飲食をしながらマスクをはずして大声で話し続けていたなど、二部のお客様の行動を不安視する声も寄せられています。それを受け、車内で飲食する際は、咳エチケットをはじめ、長時間および大声での会話は避けるなど「黙食」について周囲のお客様への配慮をお願いしています。

通勤、通学またご旅行など様々な機会でご気持ちよく車内の時間をお過ごしいただくため、すべてのお客様が安心快適に列車を利用できるよう感染防止に努めていきます。